

# ハイビスカスを育て観察し活用方法を考える

沖縄カトリック小学校  
3年 毛呂朱音

## 1. 動機、目的

### (1) 動機

私は2017年に花の色水の研究を、2018年にドライフラワーの研究をしました。その中で、ハイビスカスに一番きょうみをもち、深く知りたいと思いました。ハイビスカスはお茶や石けんに使われていたり、食べる動物がいると聞きました。わたしはハイビスカスをよく知るために、まずは育て、そしてどのように活用できるのか、実験してみたいと思いました。

### (2) 目的

ハイビスカスを観察してみることで、種類によってどんなちがいができるのかを調べる。ハイビスカスがどのように活用することができるのか、実験してみたり、考えたりしてみる。

## 2. 予想

- (1) ハイビスカスは種類によって花の形、大きさなどがちがうと思う。
- (2) ハイビスカスは花束などにしてきれいにかざれると思う。
- (3) 石けん、糸作り、染めるのには向いているけれど、食べるのとドライフラワー作りには向いていないと思う。
- (4) 台風に弱いので、生け垣、防風林、街路樹には向いていないと思う。

## 3. 用意したもの

ノート、カメラ、筆記用具、ハイビスカスの苗、土、鉢、メジャー、リボン、クッキーの材料、ハイビスカスのティーパック、ポット、カップ、洗面器、バケツ、紙、布、紙コップ、筆、ビニール袋、レモン、お湯、酢、洗剤、塩、砂糖、キッチンペーパー、ジップロック、シリカゲル、本、ラミネーター、ラミネートフィルム、タッパー、クリップ、ひも、はかり

## 4. 実験の内容、方法、結果

以下の表のとおり

内 容 写 真	方 法 結 果
<p>観察してみた。</p> 	<p>自宅に 11 種類のハイビスカスを植えて観察した。その他にもたくさんのハイビスカスの特ちょうを観察した。</p> <hr/> <p>ハイビスカスにはたくさんの種類があり、それぞれさまざまな特ちょうがあることがわかった。</p>
<p>花束にしたり、水に浮かべてかざってみた</p> 	<p>リボンでまとめてかざってみたり、水に浮かべてかざってみた。</p> <hr/> <p>1~2 日で花はしぼんで小さくなった。 1 日だったらきれいにかざることができることがわかった。</p>
<p>食べてみた</p>  	<p>花びらをよく洗い、そのまま食べたり、花びらを電子レンジでパリパリにし、種類別にクッキーにねりこみ、食べ比べてみた。 市販のハイビスカスティーを飲んでみた。</p> <hr/> <p>花びらをそのまま食べたら苦かった。 クッキーは香りも味もなにも入れていないものと同じだったが、花びらがチョコチップクッキーのような見た目になった。 ハイビスカスティーはピンク色で見た目はかわいい。味はすっぱかった。</p>
<p>泡立てて手を洗ってみた</p> 	<p>ハイビスカスの葉を外して水につけてもんだ。</p> <hr/> <p>少しだけ泡が立ち、手が少しすべすべしたような気がする。</p>

内 容 写 真	方 法 結 果
<p>糸を作ってみた</p> 	<p>ハイビスカスの枝の葉を落とし、茎の皮をむく 60 日間水につけ、はっこうさせ、皮を樹皮せんいと表皮にわけろ。 きれいに洗った樹皮せんいをおかわかし、さいて、糸にした。 出来上がった糸をはた結びでつなぎ、長くした。 糸ばしょうのような糸ができたので比べてみた。 糸ばしょうに比べ平べったい形で、長さは 9cm~39cm になった。 手で強く引っぱると切れてしまう。</p>
<p>花の色水で絵をかいてみた</p> 	<p>ハイビスカスの花を水に入れ、もんで、酢、洗剤、塩、砂糖、レモン汁を入れた。筆に色水をつけて、紙に絵をかいた。 酢などをまぜないと色がきれいにつかず、時間がたつと色落ちする。</p>
<p>花の色水で布をそめてみた</p> 	<p>ハイビスカスの花を水に入れ、もんで、酢、洗剤、塩、砂糖、レモン汁を入れた。その色水に布をつけて染めた。 酢などをまぜるときれいな色がついた。特にレモン汁をまぜると、きれいなピンク色になった。</p>
<p>押し花にしてみた</p> 	<p>花びらを外し、1 枚ずつキッチンペーパーの上に並べ、シリカゲルと一緒にみつぶし、おもしろをした。 ピンクの花はきれいにできたが、黄色の花はきれいにできなかった。</p>
<p>ドライフラワーにしてみた</p> 	<p>吊るしたり、シリカゲルに入れたりして、ドライフラワーを作った。 色が少しこくなった。 吊るしたものは花がしぼんだが、シリカゲルにいれたものは立体感がのこった。</p>
<p>生け垣、防風林、街路樹に向いているか考えた</p> 	<p>花がきれいで、南国のふんいきがあり、観光客に人気がある。葉の間がせまく、目かくしになる。 台風で花や葉が落ちることがある。 生け垣、街路樹には向いているが、防風林には向いていない。</p>

## 5. 考察

ハイビスカスを観察した結果、予想通り、種類によって花の形や大きさなどがちがうことがわかった。ハイビスカスはいろいろな活用ができることがわかったが、向いているものと向いていないものがある。

## 6. 今後のかだい

今回、11種類のハイビスカスを観察したが、まだまだたくさんの種類のハイビスカスを長期間にわたり、観察してみたい。

街路樹の観察はんいを広げ、山の方と海の方、どちらに多いのかなどの地図を作ってみたい。

今回、「紙を作る」実験と「固形石けんを作る」実験ができなかったので、来年はやってみたい。

## 7. 感想

糸をとるために茎をはっこうさせている時は管理が大変でしたが、最後にきれいな糸がとれてとてもうれしかった。

うまくいった実験と、うまくいかなかった実験があったけれど、これからも活用方法をいろいろ試して、ハイビスカスでいろいろなものを作ってみたい。

## 8. お世話になった方々

中嶋プランニングの中嶋恵子さん

伊江島のハイビスカス園の職員さん

美ら島財団の佐藤先生、天野先生、松原先生

## 9. 発表結果

第56回中部地区児童・生徒科学作品展 銅賞